

様式 A-1

平成 29 年 9 月 4 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 香川県立観音寺第一高等学校 貞廣敦夫

2. 講師氏名: Md. Kamruzzaman

3. 同行者氏名: なし

4. 実施日時: 平成 29 年 8 月 22 日 (火) 14:00 ~ 16:00

5. 参加生徒: 1 年生 __人、 2 年生 30 人、 __年生 __人 (合計 30 人)
備考: 理数科生徒30人

6. 講演題目: (英文) 'Phenology of Subtropical Mangrove Species'

(和文) 「亜熱帯マングローブ樹種のフェノロジー」

7. 講演概要:

1. 研究内容について: 沖縄に生育している3種類のマングローブの成長フェノロジー、繁殖フェノロジーを理解するため、落葉、落枝、つぼみ、花、果実を比較し、それぞれの違いを研究している。
2. 出身国のバングラデシュについて: 写真、地図を使って風土や人々の生活について説明した。
3. 研究者としての生活について: 沖縄、バングラデシュでの研究の様子について話した。
4. 質疑応答: 講演内容について質問に答えた。

8. 使用言語: 英語

9. 講演形式:

(1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 40 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)

プロジェクター使用による講演

(3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

なし

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

研究内容についてのアブストラクトを送ってもらい、基礎的専門用語、講演の内容を予習した。

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
なし

11. その他特筆すべき事項:

生徒自身が未習の分野で会ったにもかかわらず、図や表を使ってわかりやすく説明してくれたので、生徒も熱心な態度で聞くことができた。また、研究している対象が沖縄だけでなく、バングラデシュにも及んでおり、その範囲の広さに、感動した。研究が国境を越えて行われ、日本の大学の研究室の素晴らしさも知ったことは、生徒にとって刺激になり今後の進路指導にも生きてくることを感じた。本当にありがとうございました。